

2025 年度全日本卓球選手権大会長野県南信地区予選会(カデットの部)

競技上の注意

<重要>

- ・ユニフォームが間に合っていないチームや選手・・・朝、審判長に申し出ること。代わりのものは、ボールの色と被らないようにする。学校指定等の白色シャツは着用禁止。黒紺系の柄の少ないTシャツ、学校指定シャツが望ましい。
- ・ゼッケンは必ず着用する・・・今年度の協会登録ゼッケンに限る。紛失したり、忘れたりした場合は、600円で購入する。(本部にあり)

本大会は現行の日本卓球ルール及び本大会要項に準じて行います。ただしタイムアウト制は適用しません。本大会の使用球は、JTTA 公認のプラスチックホワイトボール(3 スタープレミアムクリーン)ニッタク球とします。

- 1 競技者はスポーツマンシップにのっとり、ルールを遵守し、立派なマナーのもとに、正々堂々と競技を行わなければなりません。
- 2 ラケット
 - ・ラケット本体およびラバーは JTTA または ITTF 認定マークの付いているものを使用して下さい。
 - ・ラバーはラケット本体の全面を覆い、はみ出したり小さかったりしてはいけません。
 - ・認定マークが付いているものでも、競技に著しく影響のあるものは使用できません。ラケット隅から3 mm 以上の障害事項がある場合は使用できません。特にラバーでは中央付近に亀裂やツブの破損があるものは使用できません。問題があると思われる場合は、審判長に申し出て判断を仰いでください。
- 3 サービス
 - ・手のひらの上にボールを乗せて、静止状態となった最後の瞬間からボールが打たれるまで、ボールは常にプレーイングサーフェイス(台の表面)よりも高く、しかもボールの当たる位置はエンドラインよりも後方で、インパクトの位置とネットアッセンブリーの間フリーハンドなどの障害物があってははいけません。
 - ・ボールは手のひらを離れた後、少なくとも16cm以上の高さに、ほぼ垂直に投げ上げなければなりません。
- 4 服装
 - ・競技用服装は JTTA 公認半袖シャツ、ショーツまたはスカートおよび体育館用シューズです。
 - ※1) 卓球では長袖アンダーウェア(上下)の着用は認められていません。サポーターやスパッツは可ですが、長さや色、商標について細かなルールがありますのでご承知ください。
 - ※2) 公式のユニフォーム・ゼッケンの印刷が間に合っていないチーム・選手は開会式が始まる前までに、審判長に申し出てください。半袖シャツ・パンツ(ハーフパンツ)共に白色は避けること。
(※学校指定の白シャツも避ける)
 - ※3) 審判長の許可で定められた服装以外の着用が認められますが、それらは身体的な理由に起因するものです。
 - ・試合前の3本の練習のときから、指定のゼッケンを付けた競技服装で出場して下さい。
 - ・フロアに降りる全ての方は、白を基調とした服装は避けてください。(審判員も)
- 5 アドバイス
 - ・ゲーム間のアドバイスは禁止です。観客席から指示を受けることも禁止です。
- 6 抗議
 - ・個人戦につき、抗議権は選手のみとします。
 - ・ルール解釈上のこと以外は判定に従い、場合によっては審判長に連絡してください。
- 7 応援について
 - ・ギャラリース席の場所では、立って応援しない。上の通路では許容されることもあるが、後ろに観客がいないか確認して行ってください。
 - ・インプレー中の応援は禁止。インプレーでない場合の応援の内容もアドバイスは禁止。
- 8 休憩、中断について
 - ・休憩は、ゲーム間の1分間以内とします。

- ・タオル使用は、6ポイントごとと、5ゲーム目に一方の選手の得点が先に5点に達しチェンジエンドを行うときのみに行えます。
- ・選手の事故などによる中断は最大10分を目安として行えます。その際、審判は速やかに時間を測定し、審判長に申し出てください。

9 その他

- ・競技中のカメラによるフラッシュ撮影を禁止します。フロアからビデオカメラなどで撮影する場合は、対戦相手の許可を得てください。ギャラリーからの撮影には、許可は不要です。
- ・上記以外で不明な点があったら審判長に申し出て下さい。
- ・個人情報保護の面から、インターネットに動画や画像を絶対にあげないようにお願いします。
- ・フロアに濡れ雑巾を置くことはできません。シューズのすべり止めが必要な場合は、シューダスター（シューズワイパー、靴底クリーナー）のような市販されているものを利用して下さい。設置場所は主審や副審の前とし、使用にあたっては遅延行為と見なされないように気をつけてください。

10 審判について

- ・審判は責任をもってジャッジを行い、「正規のサービスが行われているか／サイドとエッジの判定／ゲーム間およびタイムアウトを1分間以内にする／応援やマナーが適切であるか」など、確実に行ってください。
- ・サービスのネットイン時や、インプレー中に他コートの選手やボールが侵入してラリーに影響が出そうな場合などは、ただちに片手を挙げて「レット」を宣告し、やり直しを行わせてください。
- ※ 疑わしいサービスへの対処・・・正規のサービスであるか疑わしい場合は、「レット」を宣告し、注意してやり直しをさせます。正式な競技ルールでは、再度疑わしいサービスが繰り返された場合は相手に1ポイントが与えられることになっています。ただし、小中学生では判定が難しい面もあるので、繰り返された場合は、一旦試合を中断し、審判長に申し出てください。
- ※ 副審に、主審と同等の判定の権限が与えられているケース（主なもの）・・・正規のサービスであるかの判定／サービスのネットインの判定／インプレー中にボールや人の侵入によるレットの宣告／自分に近い側の「サイドかエッジ」の判定。
- ※ カウンター（得点板）を持っている審判は、観客席に得点が見えるように、6ポイントごとに、頭上に得点版を掲げ、90°ほど回転させてください。

11 促進ルールについて

- ・ゲーム開始後10分間経過しても両者のポイントスコアの合計が18ポイントに達していない場合、または両者からの要請があった場合に適用されます。
- ・インプレー中に上記の条件に当てはまった場合は、そのラリーはレット扱いとなります。（促進ルールで同じ選手のサービスから再開されます。）
- ・一度促進ルールが適用されると、そのマッチの残りのゲームはすべて促進ルールになります。

<促進ルールの内容>

- ・サービスは1ポイント交代。
- ・レシーバーが13回リターンに成功すると、レシーバー側に1ポイント得

※促進ルールでは、主審の他に打球数を数えるストロークカウンターが加わります。促進ルールが適用される場合は、一度試合を中断し、審判長に申し出てください。

12 棄権について

- ・朝、本部に申し出てください。